

平成28年度 全日本少年少女武道(少林寺拳法)錬成大会要項

- 1 趣 旨** 全国の小・中学生を対象に、基本錬成を主眼とした、少林寺拳法（技法）の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。
- 2 主 催** 公益財団法人日本武道館・一般財団法人少林寺拳法連盟
- 3 後 援** スポーツ庁・日本武道協議会
- 4 期 日** 平成28年8月6日（土）
午前8時30分開場 午前9時50分開会式 午後4時00分閉会（予定）
- 5 会 場** 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5100(代)
- 6 テーマ** 「ワクワク ～あなたとともに～」
- 7 参加資格** 本大会に際し、健康上支障ないと認められた小・中学生で、一般財団法人少林寺拳法連盟の個人会員であること。なお、障がい者の出場に関しては、実行委員会までお問い合わせ下さい。**※未就学児童の参加は、できません。**

- 8 錬成内容・対象** (1) 基本錬成：基本突き、蹴りや相対演練で共に触れ合い、汗を流す。
(2) 演武錬成：

種 目		対 象	演武時間
規定組演武	小学生1級の部	学年、男女不問	制限なし
	〃 2級の部		
	〃 3級の部		
	〃 4級の部		
	〃 5級の部		
	〃 6級の部		
自由組演武	中学生有段の部	学年、男女不問	1分30秒～2分
	〃 段外の部		
	小学生有段の部	学年、男女不問	1分～1分30秒
規定単独基本演武	見習い～7級の部	小学6年生以下で見習い～7級まで	制限なし
	6級～5級の部	小学6年生以下で6級～5級まで	
	4級の部	小学6年生以下で4級	
	3級～1級の部	小学6年生以下で3級～1級	
団体演武	中学生の部	学年・有段・段外・男女不問	1分30秒～2分
	小学生の部	学年・有段・段外・男女不問	1分～1分30秒

※本年度大会において、団体演武は、組演武又は単独基本演武との重複出場を可とします。

- (3) 稽古錬成：単演基本法形及び演武練習を参加拳士全員で行う。

※稽古錬成のみでも参加可とし、資格、学年、男女は不問とします。

9 演武内容

(1) 組演武

- (ア) 演武は、2人の組演武とする。**(3人掛不可)**
- (イ) 小学生の段外者は、規定組演武に参加する。**(ただし、有段者と組む場合は除く)**
→別紙「規定組演武内容」参照
- (ウ) 中学生と小学生の有段者は、自由組演武とし、演武者各個人の守者側の資格に応じた範囲内の技で構成する。ただし、小学生で初段の拳士が使用できる技は、二段科目（一般初段の習得科目）までとする。**自由組演武の構成は、6構成とする。使用禁止技は、後述(5)の通り。**
- (エ) 2人の資格が違う場合は、上級者の資格の部へ参加する。中学生と小学生の組み合わせは、中学生の部へ参加する。
- (オ) 自由組演武は、原則として、同資格の拳士と組んで参加する。やむを得ず他資格の拳士と組む場合は、守者の資格に合わせて攻者が攻撃する。
- (カ) 胴着用は可。武器・法器の使用は禁止する。

(2) 団体演武

- (ア) 構成人数は**6名か8名**とする。
- (イ) 構成の編成は1構成目と6構成目は単独演武、2～5構成目は組演武を以て編成する。この条件に合わないとは認められた場合は総合点から10点減点とする。
※ ここで言う組演武は2人1組で行うものとします
※ 三人掛演武を行った場合は失格とします。
※ 「団体演武 小学生の部」における使用技については、参加者の内、最上級資格者の科目迄を使用可とします。**(但し、小学生の使用禁止技・宙で回転する受身等を除く)**
※本年度大会において、団体演武は、組演武又は単独基本演武との重複出場を可とします。
- (ウ) 単独演武は、以下の単独演武基本法形より、1構成目と6構成目でそれぞれ1技選択し、一方向のみ行う。
天地拳第一～六系、義和拳第一、二系、龍王拳第一、三系、龍の形（逆小手）、紅卍拳、白蓮拳第一系
- (エ) 使用できる技は、参加者の内、最上級資格者の科目までとし、**構成は6構成とする。**
- (オ) 「団体演武 少年生の部」で、初段拳士が参加している場合、使用できる技は、二段科目（一般初段の習得科目）までとする。**使用禁止技は後述(5)の通り。**
- (カ) 胴着用は可。武器・法器の使用は禁止する。
- (キ) 中学生の部については、合図的な動き・気合を不可とし、**総合点から5点減点**する。
- (ク) 小学生の部については、号令・気合を合図として用いることを可とする。
(ケ) 演武時間については、「団体演武 中学生の部」(1分30秒～2分)、「団体演武 小学生の部」(1分～1分30秒)とする。

(3) 単独基本演武 →別紙「単独基本演武内容」参照

※単独基本演武（全種目）の対象学年は、小学6年生以下とする（中学生は参加不可）。

(4) その他

- (ア) 規定組演武、自由組演武、団体演武への参加は、原則として同一所属の拳士同士の組合わせとする。**※但し、異なる団体で同一所属長の場合は除きます。**
- (イ) 各所属の**参加組数**について、規定組演武、自由組演武、団体演武については**制限なし**とする。
- (ウ) 本年度の大会において、団体演武は、組演武又は単独基本演武との重複出場を可とする。但し、組演武と単独基本演武との重複出場はできません。**
- (エ) **参加者は、申し込み後、昇級、昇段しても申し込み時の種目（資格）に参加する。（帯の色、資格章等についても、上記に準ずる）**

(5) 使用禁止技

(ア) 小学生の使用禁止技

・肘抜より前天秤・送巻天秤・逆手投・龍投・外巻天秤・切返天秤・切返巻天秤・巻十字小手・上受逆手投
・逆天秤・腕十字固・天秤固・送天秤捕(二種)・吊上捕・吊落・袖巻天秤・外巻落・刈足・後刈倒
・投げ技に対し宙で回転する受身(身体すべての部位が、地面から離れる受身)

- (イ) **「投げに対し宙で回転する受身」については、中学生も使用禁止技とする。**
- (ウ) **使用したと認められる場合は総合点から15点の減点とする。**

10 稽古錬成への参加内容

- (1) 演武錬成に出場する拳士は、稽古錬成にも参加する。
- (2) **稽古錬成のみの参加者は、先着300人とし、所属毎の参加申込者数は制限しない。**

11 競技規則並びに審判規則

本大会の演武錬成並びに審判については、一般財団法人少林寺拳法連盟競技規則・審判規則に基づく。

12 演武の評価

演武錬成では、出場拳士の演武終了後、ただちに評価を明示する。**一定水準以上の組には、優秀メダルを授与する。**また、演武錬成出場者全員に、参加証を渡す。

13 記念品

参加者全員に、記念品を贈る。

裏面もご覧ください

14 申込方法

(1) インターネットまたは郵送のどちらかで申し込むこと。(併用厳禁)

《インターネットの場合》

詳細は、別紙インターネット参加申込受付案内を参照のこと。

《郵送の場合》

別紙申込用紙に所定事項を記入の上、郵送すること。

申込先 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館振興課少林寺拳法係宛
定形最大(長3)の封筒で郵送のこと。

(2) 申込締切 **平成28年5月31日(火)(消印有効)※締切を過ぎた申込みは、受け付けられません。**

※少林寺拳法連盟への入会、兼籍手続きを済ませていただいたうえで、出場申込みをお願いいたします。

(3) 参加費 演武錬成および稽古錬成に参加の場合 1人……900円

稽古錬成のみの参加の場合 1人……400円

①同封の振込依頼書で、送金のこと。

②三菱東京UFJ銀行窓口から振込む場合、手数料は無料。

③依頼人欄に**申込書左上部に記載されているコードNo.・都道府県・団体名(フリガナ含む)**を必ずご記載すること。

④振込依頼書をご使用にならない場合、下記口座番号等を確認の上、振込むこと。

※一旦納入された参加費は、一切返金いたしませんので、ご了承下さい。

※振込期限は、申込締切と同日までとします。

※参加申込書については、所属毎にIDやパスワードが発生する都合上、日本武道館宛にお問い合わせ下さい。

(公財)日本武道館 振興課 少林寺拳法係 03-3216-5134

(土・日・祝日を除く、午前10時～午後5時)

【振込先】(昨年同様)

振込先：三菱東京UFJ銀行 神田支店

預金種目：普通預金

口座番号：3817509

口座名：公益財団法人日本武道館特別会計少林寺拳法口

口座名付：コウエキザイダンホウジンニッポンブドウカントクベツカイケイショウリンジケンポウグチ

15 参加服装 全員道衣。すべての参加者は、背中(縫目下)に白地に黒で所属する都道府県名を書いたゼッケンをつけること(サイズ:縦10cm×横20cmの長方形/各所属にて作成のこと)。
少林寺拳法競技規則に定められた服装規定違反が認められる者については、出場を認めない。
(受賞対象外とする)

16 安全対策 安全管理には万全を期するが、万一、実施中事故が発生した場合は応急処置を施し、更に病院等で診療を受けた場合、初診料は主催者側が負担するものとする。

※但し、条件として大会担当医の診断を受けるものとします。

(過去の事例として、大会担当医を通さず、直接、保護者が救急車を呼んだ場合、大会における障害保険の対象外となることがありました。)

参加者は、健康保険証(コピー可)を持参すること。

※日本武道館では大会中のみ(大会会場への往復途上は含まれない)の傷害保険に加入している。

17 その他

(1) 宿泊斡旋 宿泊等の業務斡旋を、下記の旅行者に委託しています。詳細は別紙参照のこと。

近畿日本ツーリスト株式会社 トラベルサービスセンター東日本

「全日本少年少女武道錬成大会」係

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24 西新宿KFビル 3F

TEL 0570-064-205 FAX 03-6730-3230

(2) 当日の昼食は、各自で用意して下さい。上記業者にて、昼食のみの受付も可能です。

(3) 入場料は無料。**観客席は地区ごとに区分けをしております。**

※席の確保として、紐で囲うこと等は禁止しております。ご注意下さい。

(4) 今大会では、昨年同様、主座・打棒者を募集している。詳細は、別紙の通り。

(5) 今大会では、昨年同様、若葉記者(会報少林寺拳法の記者)を募集している。詳細は、別紙の通り。

(6) 参加する所属には、7月下旬頃に大会実施要項を送付する。

【上記以外の問い合わせ先】

一般財団法人少林寺拳法連盟 東京事務所内 全日本少年少女武道(少林寺拳法)錬成大会実行委員会

TEL 03-5961-2190(土・日・祝日を除く、午前9時～午後5時)

Email:rensei@shorinjikempo.or.jp(メールでの参加申込は、できませんのでご了承ください)

本大会は、(公財)日本武道館と(一財)少林寺拳法連盟との共催であり、

本書類は、(公財)日本武道館より発送しています。